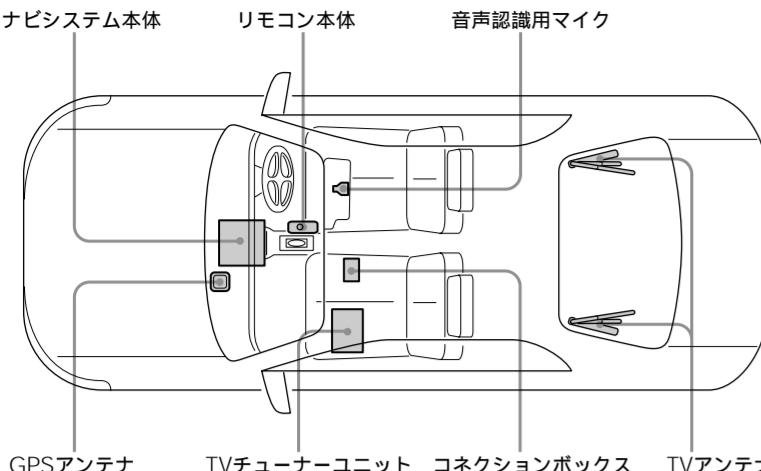


取り付ける前に

下図のように取り付けられるかどうか、ご使用になっている車に合わせて各機器を配置してください。



ご注意

- 次のようないくつかの場所への取り付けは避けください。
 - 直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところ。
 - 高溫になるところ。
 - 直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところ。

2 ナビシステム本体を取り付ける

本機を取り付ける前に

本機は安全性を重視して設計されておりますが、正しい位置に確実に取り付けを行わないと事故の原因となり大変危険です。

取り付ける前に、必ず以下の事項を確認してください。

- モニターをセッティングしたときに、エアコンの吹き出し口の近くのときは吹き出し口を閉じてください。
- 本機はイグニッションキー/スイッチにアクセスセレーラー(ACC)ポジションのない車には取り付けられません。
- モニターをセッティングしたときに、ハザードランプスイッチなどをモニターの後ろに隠れずに、すぐに押せることを確認してください。
- 本機(モニター)は極端に低温または高溫になる場所には取り付けないでください。(キャビネットの変形や液晶(パネル)の故障の原因になります。)また、直射日光での車内はかなりの高溫になりますので、日光が直接当たらないようにしてください。

取り付け位置

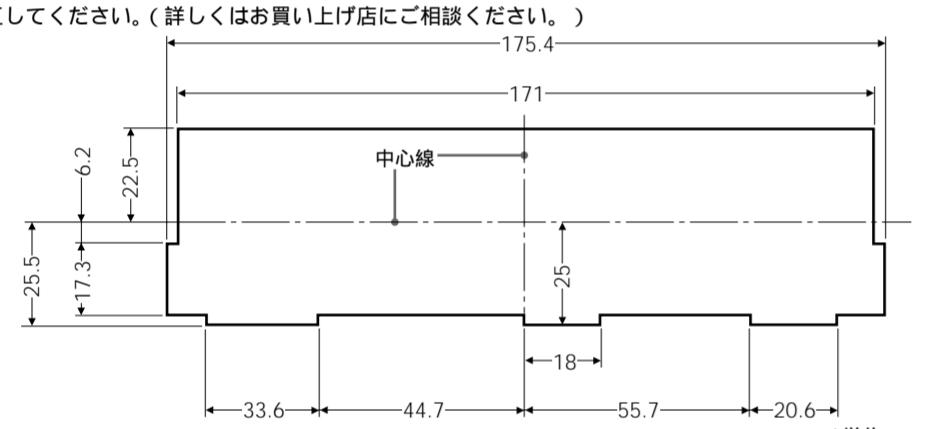
前方視界を妨げることなく、また運転中極端に視線を動かさずにすむようにセンターコンソールやインダッシュの高い位置に取り付けてください。2DINサイズの場合は、必ず上段に取り付けてください。

取り付け角度

水平から25°以内で取り付けてください。25°以上傾けて取り付けるとモニターのセット/収納ができなくなるなどの原因となります。

センターコンソールやインダッシュに取り付ける

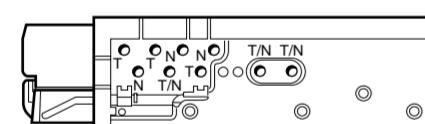
トヨタ車や日産車、三菱車のほとんどは純正カーオーディオを外して、その後に本機を取り付けられます。ただし、車種(一部のトヨタ車、スバル車など)によっては、本機のモニターローディング機構の動作寸法より小さな場合があります。その場合、下図を参照して車両側のクラスター/パネルを加工してください。(詳しくはお買い上げ店にご相談ください。)



ご使用の車が上記以外のときは、別売りの取り付けキットが必要です。詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。

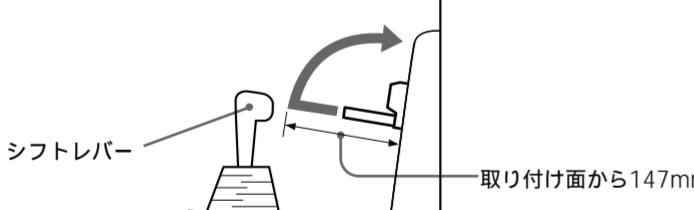
取り付け時のご注意

- 取り付けは慎重に行ってください。本機を落とさせたり、ぶつけたり、無理な取り付けを行いますとシャーシが歪んでモニターのローディング機構が動作しなくなり、故障の原因となります。
- 純正プラケットを本機に取り付けるとき、本機側面に刻印されている「T」(トヨタ車/三菱車用)「N」(日産車用)「T/N」(トヨタ車/三菱車/日産車共用)マークにプラケットの取り付けネジ穴を合わせて、付属のネジ⑥または⑦で取り付けてください。



マツダ車用取り付け金具GMD-235を使用する場合は、付属のネジ⑥とワッシャー⑧で金具を取り付けてください。

モニターのセット/収納のためにシフトレバーを一番前にした状態からナビシステムの取り付け面まで147mm以上の間隔が必要です。



シフトレバーの位置によっては、モニター部が当たる場合があります。シフトレバーを一番前にしたときに運転の操作の妨げにならないことを確認してください。

本機とマスターユニット(1DINサイズ)を重ねて取り付ける場合は、本機を上段に取り付けます。

取り付けかた

1 純正カーオーディオを取り外す。

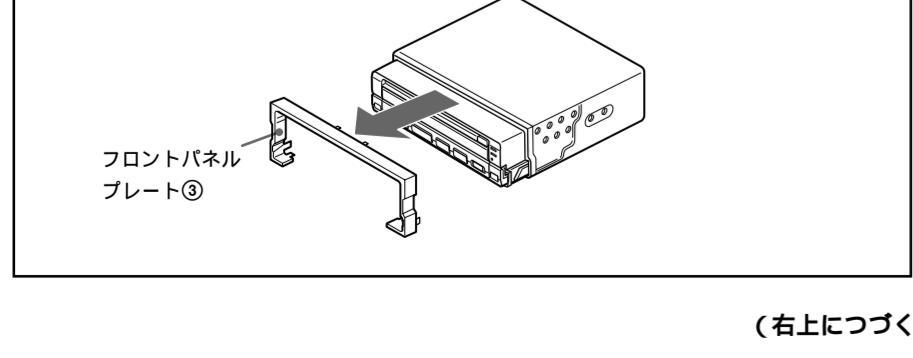
センターコンソールやインダッシュから純正オーディオを取り外し、カーオーディオを取り付けていた純正プラケットを利用して、本機を取り付けます。

2 本機を仮置きする。

本機の後部が車両側にあたるときや、モニターをセッティングしたときにモニターの上部背面がセンターコンソールにあたるときなどは、取り付け位置を移動させてください。本機は14mm前方へ移動させて取り付けることができます。前方へ取り付けるときは、フロントパネルプレート③を取りはずしてください。

本機を14mm前方へ移動させて取り外すマスターユニット(1DINサイズ)と重ねて取り付ける場合、車種によってはマスターユニットの操作が困難になることがあります。操作しやすいかどうか、必ず取り付ける前に確認してください。

フロントパネルプレートを取りはずす場合



(右上につづく)

3 本機を取り付ける。

接続例を参照して、センターコンソールやインダッシュに取り付けてください。

ご注意

- 本機のフロントパネルのボタンなどを押したり、強い力を加えたりしないでください。
- 本機の上部に物をはさみ込まないでください。

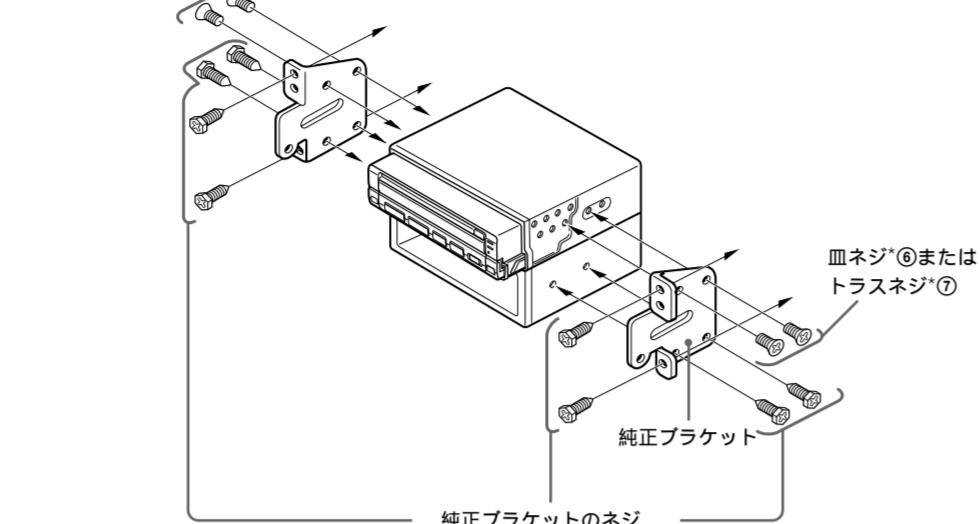
トヨタ車/三菱車の場合

(イラストはトヨタ車の場合)

本機側面の「T」(トヨタ車/三菱車用)の刻印のあるネジ穴に純正プラケットの取り付けネジ穴を合わせて付属の皿ネジ⑥で取り付けてください。三菱車に本機を取り付ける場合は、トラスネジ⑦をご使用ください。

皿ネジ⑥または

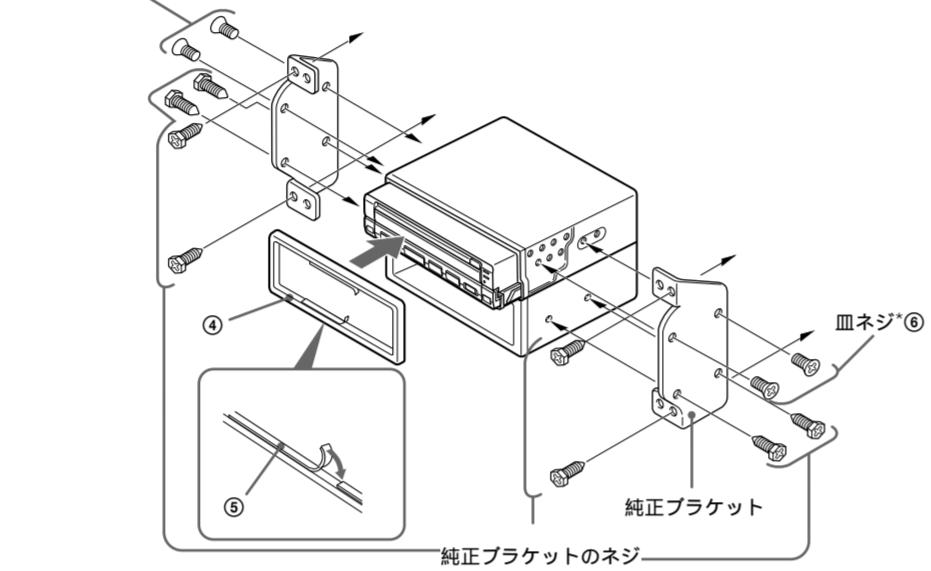
トラスネジ⑦



日産車の場合

本機側面の「N」(日産車用)の刻印のあるネジ穴に純正プラケットの取り付けネジ穴を合わせて付属の皿ネジ⑥で取り付けてください。

皿ネジ⑥



*取り付けネジは、必ず付属の皿ネジ⑥またはトラスネジ⑦で取り付けてください。他のネジで取り付ける場合は、必ず次のサイズのものをお使いください。



これらより長いネジを使うと、モニターのセット/収納ができなくなるなど故障の原因となります。

3 TVチューナーユニットを取り付ける

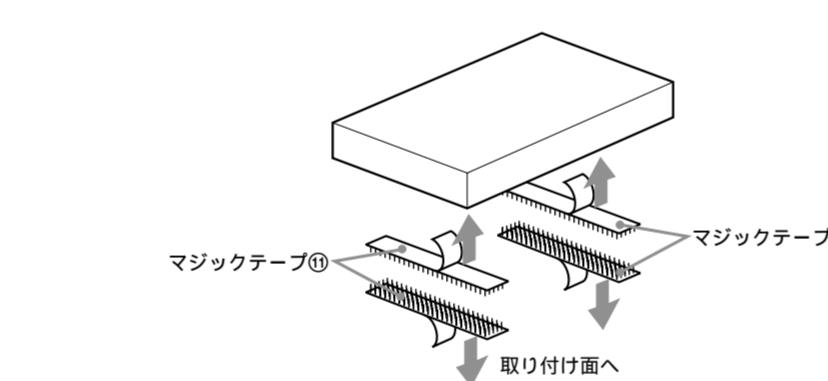
助手席の下などに取り付けてください。

ご注意

直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところへの取り付けは避けください。

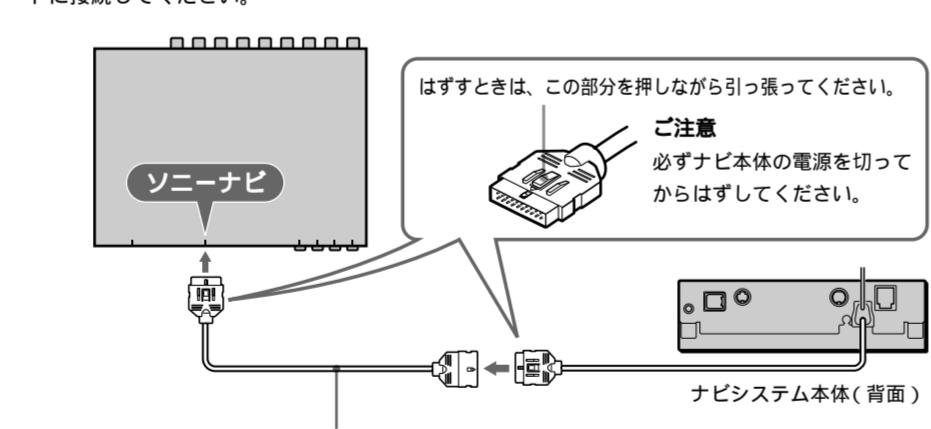
マジックテープ①でカーペットなどに取り付ける。

取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。



TVチューナーユニットをトランクなどに取り付ける場合

TVチューナーユニットをトランクなどナビ本体から離れた場所に取り付けるときは、付属の接続延長ケーブル⑩をナビ本体のTVチューナーユニット接続用ケーブルに接続してからTVチューナーユニットに接続してください。



4 コネクションボックスを取り付ける

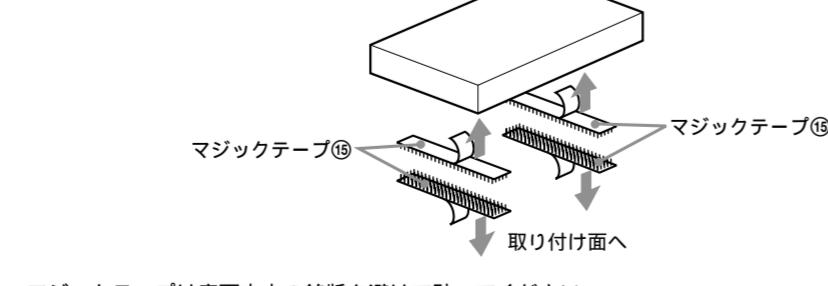
助手席の下などに取り付けてください。

ご注意

直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところへの取り付けは避けください。

マジックテープ①を2つに切り、カーペットなどに取り付ける。

取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。



マジックテープは底面中央の銘版を避けて貼ってください。

5 TVアンテナを取り付ける

取り付ける前に



*必ずアウトドアに取り付けてください。

- 車のラジオ用アンテナや、バーソナル無線、アマチュア無線、自動車電話などのアンテナから離して取り付けてください。近くに設置するど、他のアンテナの影響を受ける場合があります。
- エレメントが車体より出ない所を選んでください。目に当たるなどして大変危険です。
- なるべく平な部分に貼り付けてください。ガラス表面が傷ついたら、はがれる危険があります。
- 湿気の高いとき(雨、霧など)は、貼り付け面を充分に乾燥させてください。取り付け面に水気があると、接着力が低下し、はがれる危険があります。
- 取り付け面の温度が低いときは、接着力を上げるため、車内ヒーター、リアウインド Defogger、ドライバーなどを利用し、温めてから貼り付けてください。
- アンテナの左右を確認して取り付けてください。

取り付けたら

*すぐに走行しても問題はありませんが、24時間は水をかけたり、雨にあてたり、無理な力を加えないでください。

*走行前に、確実に固定されていることを必ず確認してください。

*取り付け後は、取り付け状態を時々点検してください。

*自動洗車機の使用は避けください。

*アンテナ本体、エレメント、コードをアルコール、ベンジン、ガソリン、ワックスなど拭かないでください(変形、破損の原因になります。)

*次のような場所では、映りにくくなります。

- ビルとビルの間
- 高圧線、送電線付近
- 飛行機が近くを飛んでいる場合
- 電車が近くを走行している場合
- 山中や放送局から遠い場所
- トンネル内
- ラジオ放送、アマチュア無線局の送信アンテナ付近

取り付けかた

あらかじめ、不織布②とクリーナー液②で、貼り付け面の油やワックス、ほこりなどを拭きとどけておきます。クリーナー液が乾いたら水で洗い流して乾いた布で拭きとどけ、以下の手順で取り付けてください。

1 アンテナ①から取り付け金具をはずし、貼り付け面に合わせて折り曲げる。

取り付け金具と貼り付け面の間にすき間がないことを確認してください。

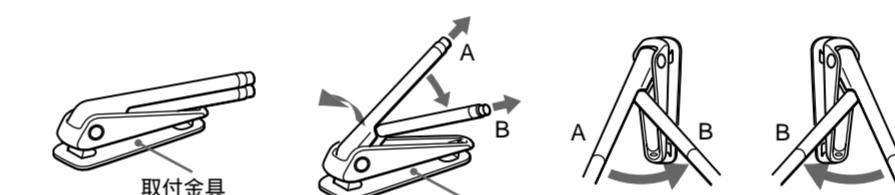


2 取り付け金具裏面のはくり紙をはがして貼り付ける。

接着面に手を触れたり、貼り直しをすると接着力が低下しますのでご注意ください。

アンテナの使いかた

アンテナ本体を起動してから、エレメントAおよびBの各段をいはいにのばし、エレメントBを内側へ倒します。(取り付け場所によってはアンテナの性能が劣化する場合があります。)



アンテナコードの配線

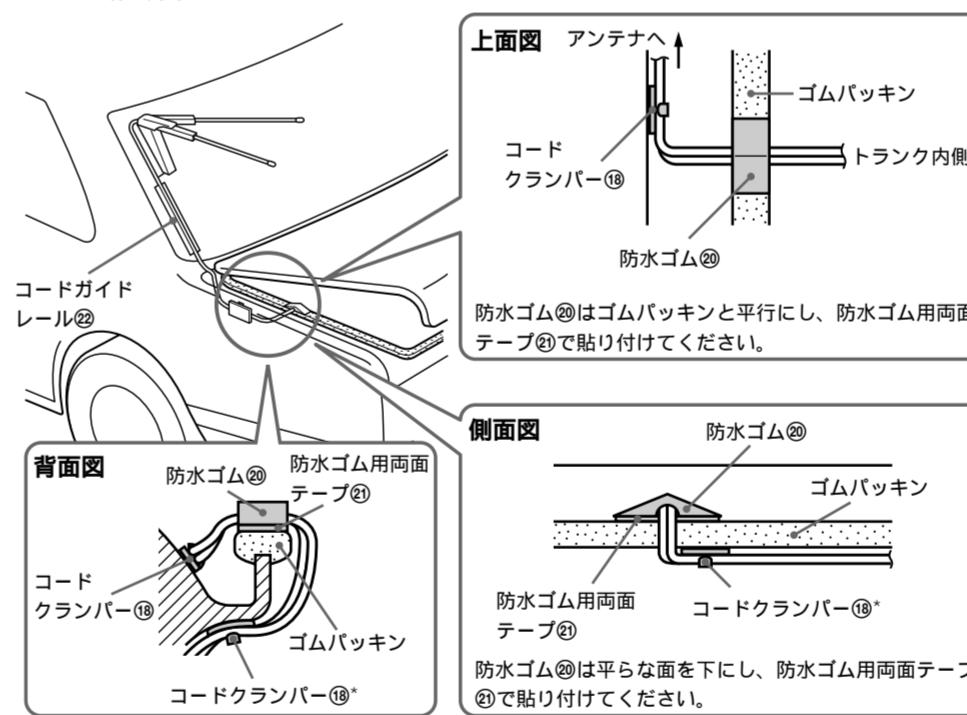
配線をする前に

*アンテナコードの配線位置は、高熱部を避けてください。

*車の雑音を受ける場合がありますので、コードは車側の配線類から離して設置し、配線処理も確実に行ってください。

雨水などの侵入を防止するため、コードの車室内への配線には十分注意してください。

コードの配線



*このコードクランパーは必ず防水ゴムより低い位置に取り付けてください。トランク内の水漏れの原因となります。

防水ゴム⑧はゴムパッキンと平行にし、防水ゴム用両面テープ⑨で貼り付けてください。

防水ゴム⑧はゴムパッキンと平行にし、